東大阪市子ども・子育て会議（第２３回）

会　議　次　第

平成２９年２月２７日(月)
午前１０時００分から１２時００分
総合庁舎　１８階　研修室

１．　開会

２．　議事

（１）子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて【資料１】

（２）幼保連携型認定こども園・小規模保育施設等について【資料２】

（３）公立の就学前教育・保育施設再編整備計画の進捗について【資料３】

その他
・特定教育・保育施設障害児入所認定審査部会について（報告）【資料４】
・子育て支援員について【資料５】

３．閉会

子ども・子育て会議委員名簿（50音順、敬称略）

		氏名
1	関西福祉大学社会福祉学部社会福祉学科准教授	井上　寿美
2	東大阪市立幼稚園長会幼保問題担当	大庭　悦子
3	東大阪労働組合総連合委員	甲斐　龍子
4	UAゼンセン万代ユニオン中央執行副委員長	櫛田　育子
5	大阪府立大学人間社会学部	関川　芳孝
6	東大阪市立小学校長会役員	園田　彦一
7	東大阪市私立幼稚園協会会長	竹村　明
8	保育所保護者	中泉　あゆみ
9	大阪人間科学大学社会福祉学部教授	中川　千恵美
10	東大阪市障がい児相談支援及び通所サービス等施設連絡会長	中西　良介
11	小学校児童保護者	西濱　靖子
12	東大阪市PTA協議会学校園委員会委員長	西村　祐治
13	東大阪市留守家庭児童育成クラブ協議会会長	原田　一平
14	御厨保育所所長	古川　玲子
15	東大阪市私立保育会会長	森田　信司
16	東大阪大学副学長	吉岡　眞知子

東大阪市子ども・子育て会議（第23回）　配席表

入口

関川会長　○
中川副会長　○

中泉委員　○
西濱委員　○
行天委員　○
西川代理委員　○
森田委員　○
吉岡委員　○

井上委員　○
大庭委員　○
甲斐委員　○
櫛田委員　○
園田委員　○
竹村委員　○

傍聴席

○ 社会教育部長 安永
○ 学校教育部次長 松田
○ 学校教育部長 清水
○ 教育委員会事務局理事 田村
○ 副市長 立花
○ 子どもすこやか部長 奥野
○ 保育室長 関谷
○ 子ども子育て室長 奥田

○ 青少年スポーツ室次長 増田
○ 青少年スポーツ室長 泉
○ 学事課長 石橋
○ 子どもすこやか部次長 川西
○ 子育て支援課長 栗橋
○ 子ども応援課長 村野
○ 保育室次長 浅井
○ 施設指導課長 大川

○ 子ども見守り課長 竹山
○ 子ども家庭課長 菊地

配 布 資 料 一 覧

【資料１－１】　子ども・子育て支援事業計画の中間見直方針について
【資料１－２】　東大阪市子ども・子育て支援事業計画に関するアンケート調査　調査票【就学前児童のいる世帯用】
【資料２－１】　子ども・子育て支援新制度移行の施設整備及び待機児童数等について
【資料２－２－①】　平成２９年度　新規認可施設一覧（認定こども園）
【資料２－２－②】　平成２９年度　新規認可施設一覧（民間保育施設）
【資料２－２－③】　平成２９年度　新規認可施設一覧（小規模保育施設）
【資料２－３－①】　各施設別利用定員数（平成２９年度）
【資料２－３－②】　各施設別利用定員数（平成２８年度）（参考）
【資料３－１】　平成２９年度新規開設施設一覧（公立認定こども園）
【資料３－２】　公立の就学前教育･保育施設再編整備計画の進捗状況について

【資料４】　平成２８年度　特定教育・保育施設障害児入所認定審査部会の報告について
【資料５】　子育て支援員養成研修について（実施報告）

資料１－１
第２３回子ども・子育て会議

子ども･子育て支援事業計画の中間見直し方針について

平成29年2月27日

１．東大阪市子ども・子育て支援事業計画について

平成２７年４月に施行された子ども・子育て支援新制度により、子育て家庭や子どもの育ちをめぐる環境の変化、また新たな市民のニーズに十分に応えていくために、５年を１期とする子ども・子育て支援事業計画を策定し環境整備や支援の充実に努めてきました。

２．事業計画の中間見直しについて①

- 本事業計画は、平成27年度から平成31年度までの5年間を計画期間と定めており、中間年にあたる平成29年度に事業計画の見直しをすることとしています。
- 中間見直しでは、事業計画の基本理念を継承しながら、見直しを行います。

施策展開の基本的な考え方
・すべての子どもへの質の高い教育・保育の提供と子育て支援の充実
・待機児童の解消
・在宅での子育て支援の充実

２．事業計画の中間見直しについて②

中間見直しの考え方

中間見直しの重点項目として、就学前児童の教育・保育の需要量を見直します。

・待機児童解消への取組として、平成30年度以降の施設整備計画を確認する必要があるため。

・公立の就学前教育・保育施設再編整備の基礎資料とするため。

2. 事業計画の中間見直しについて③

見直し手順のイメージ①

中間見直しの実施

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①需要量	1,000	900	800	**700**	**600**
②現在の供給量（計画策定当初の供給量）	500	500	500	500	500
③必要見込み量（②－①）	△500	△400	△300	△200	△100
④確保方策			100		

アンケート調査により比較

見直し後

	30年度	31年度
①需要量	**700**	**600**
②直近の供給量	600	600
③必要見込み量（②－①）	△100	0

アンケート調査（ニーズ調査）

直近の供給量に修正

不足分

31年度の需要量を比較した結果、乖離がないため見直しをしない。

2. 事業計画の中間見直しについて④

見直し手順のイメージ②

中間見直しの実施

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①需要量	1,000	900	800	**700**	**600**
②現在の供給量（計画策定当初の供給量）	500	500	500	500	500
③必要見込み量（②－①）	△500	△400	△300	△200	△100
④確保方策			100		

アンケート調査により比較
31年度　300不足

見直し後

	30年度	31年度
①需要量	**1,000**	**900**
②直近の供給量	600	600
③必要見込み量（②－①）	△400	**△300**

アンケート調査（ニーズ調査）

直近の供給量に修正

不足分

確保方策の見直し

３．アンケート調査の対象者

計画策定時の 調査対象	今回の 調査予定	考え方
就学前児童のいる世帯（０～５歳）	調査予定	アンケート調査により算出される各事業について需要量を算出します。
小学生のいる世帯 （６～１１歳）	調査しない	「留守家庭児童育成事業」の需要量を算出していますが、市域全体としては必要見込み量を満たしているため、小学生のいる世帯へのアンケート調査を実施しない。 なお、就学前児童のいる世帯へのアンケート調査の中で、今後のニーズ量を把握し整備の参考とする。
妊婦のいる世帯	調査しない	「乳幼児家庭全戸訪問事業」「妊婦検診」は、すべての対象者に実施しており、改めて需要量の算出が不要であるためアンケート調査を実施しない。

４．各事業とアンケート調査について①

○就学前児童の学校教育・保育

①施設・事業名	②提供区域	③アンケート調査の実施の有無
教育・保育施設 地域型保育事業	ニーズの把握等については「中学校区」とし、整備にあたっては7リージョンを基準とする。	有

提供区域・・・施設等の確保に向けた需給調整を検討するために、目安となる区域（圏域）です。

4. 各事業とアンケート調査について②

○地域子ども・子育て支援事業等

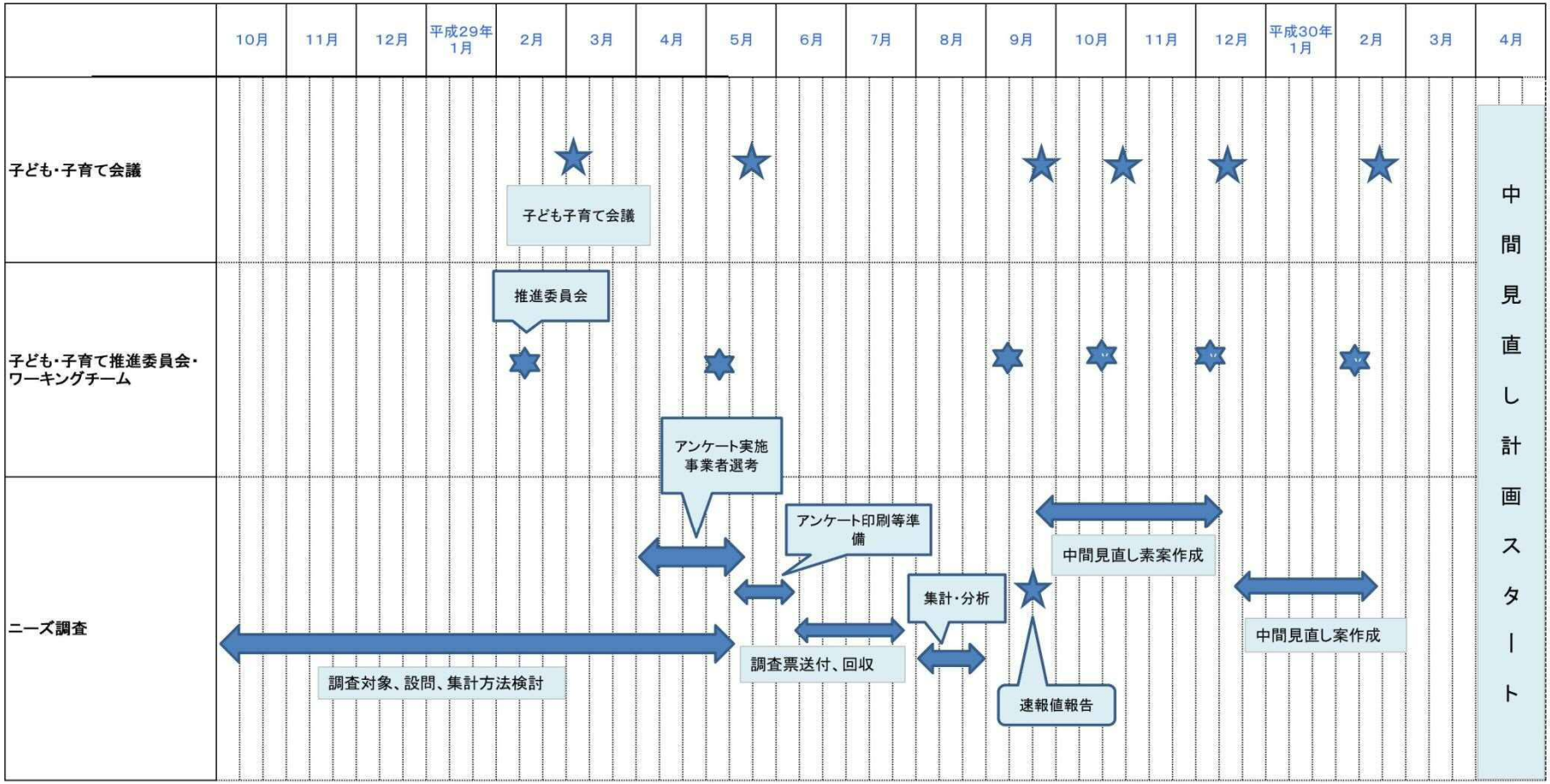
①事業名	②提供区域	③アンケート調査 実施の有無
延長保育（時間外保育）事業	市域全体	有
留守家庭児童育成事業	小学校区	無
子育て短期支援事業（ショートステイ）	市域全体	無
地域子育て支援拠点事業	リージョン	有
一時預かり事業 幼稚園型・一般型	市域全体	有
病児保育事業	市域全体	有
子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）	市域全体	有

4. 各事業とアンケート調査について③

①事業名	②提供区域	③アンケート調査 実施の有無
乳幼児家庭全戸訪問事業	市域全体	無
養育支援訪問事業	市域全体	無
妊婦検診	市域全体	無
利用者支援事業	市域全体	無
実費徴収に係る補足給付を行う事業	市域全体	無
多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	市域全体	無
夜間保育事業	市域全体	有
早朝の時間帯における保育	市域全体	有
休日保育事業	市域全体	有

5. スケジュール案

中間見直しスケジュール （案）



（参考）計画策定時のアンケート調査票

資料１－２
第２３回子ども・子育て会議

中学校区：

東大阪市子ども・子育て支援事業計画に関するアンケート調査　調査票【就学前児童のいる世帯用】

はじめから順番に回答をお願いいたします。

宛名のお子さんとご家族の状況について

問１　宛名のお子さんの生年月をご記入ください。（□内に数字でご記入ください。）

平成 □□ 年 □□ 月生まれ

問２　宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。お２人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数 □ 人　　末子の生年月　平成 □□ 年 □□ 月生まれ

問３　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．母親　　２．父親　　３．その他（　　）

問４　この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．配偶者がいる　　２．配偶者はいない

問５　宛名のお子さんと同居している家族の形態は、どれにあたりますか。続柄は宛名のお子さんからみた関係です。父または母が単身赴任などの場合についても、同居と考えてください。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．親と子（２世代）　⇒　問６にお答えください。
２．祖父母等の親族と親と子（３世代）
３．その他（　　）　⇒　問７へお進みください。

問５で「１」に○をつけた方にうかがいます。

問６　宛名のお子さんの祖父母の方たちとは近く（概ね 30 分程度に行き来できる範囲）に住んでいますか。続柄は宛名のお子さんからみた関係です。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．祖父母等の親族と近くに住んでいる　　２．祖父母等の親族と近くに住んでいない
３．その他（　　）

問７　宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．父母ともに　２．主に母親　３．主に父親　４．主に祖父母　５．その他（　　）

問８　宛名のお子さんの母親は、現在妊娠中ですか。

１．妊娠中である　　２．妊娠中でない

子育て環境について

問９　宛名のお子さんの子育てに日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．父母ともに　　２．主に母親
３．主に父親　　４．主に祖父母
５．幼稚園　　６．保育所
７．その他（　　）

問 10　宛名のお子さんの子育てに影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

１．家庭　　２．地域
３．幼稚園　　４．保育所
５．認定こども園　　６．その他（　　）

問 11　日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
２．緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる　⇒　問 12 にお答えください。
３．日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
４．緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる　⇒　問 13 にお答えください。
５．いずれもいない　⇒　問 14 へお進みください。

問 11 で「１」または「２」に○をつけた方にうかがいます。

問 12　祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
２．祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
３．祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
４．親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
５．子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
６．その他（　　）

問 11 で「３」または「４」に○をつけた方にうかがいます。

問 13　友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
２．友人・知人の身体的負担が大きく心配である
３．友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
４．親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
５．子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
６．その他（　　）

問14　子育てについて相談できる機関（市の施設）などを知っていますか。

1．知っている　　2．知らない

問15　宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所はありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．ある／いる　⇒　問16にお答えください。　　2．ない　⇒　問17へお進みください。

問15で「1」に○をつけた方にうかがいます。

問16　お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．配偶者・パートナー
2．その他の親族（親、きょうだい等）
3．隣近所の人、知人、友人
4．職場の同僚
5．保育所、幼稚園、学校、留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）の保護者仲間
6．子育てサークル等の仲間
7．保育所の保育士、幼稚園・小学校の先生、留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）の指導者
8．医師、保健師、看護師、助産師、栄養士など
9．専門カウンセリング（臨床心理士等）
10．家庭児童相談室（福祉事務所内に設置）
11．子育て支援センター・つどいの広場
12．母子自立支援員（福祉事務所内に設置）
13．コミュニティソーシャルワーカー（いきいきネット相談支援センター・福祉なんでも相談）
14．ファミリー・サポート・センター
15．自治会役員
16．民生委員・児童委員、主任児童委員
17．教育センター
18．保健所・保健センター
19．子ども家庭センター
20．子育て支援相談ダイヤル
21．スマイルサポーター
22．療育センター
23．ベビーシッター
24．自ら育児書・育児雑誌・インターネット等で調べる
25．その他（　　）

※スマイルサポーターとは大阪府が認定し、地域の子育て家庭、高齢者や障害者等の相談活動等子育て支援の充実や地域の関係機関との連携強化を図る相談員のことです。

問17　子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

保護者の就労状況について

問18　保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。母親・父親それぞれについてお答えください。

	父親（保護者） ※母子家庭の場合は、記載不要です。	母親（保護者） ※父子家庭の場合は、記載不要です。
（1）就労状況をお答えください。	1．フルタイムで就労している（育休・介護休業中含む） 2．パート・アルバイト等で就労している（育休・介護休業中含む） 3．現在、求職中である 4．就労していない ⇒（6）へ	1．フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中含む） 2．パート・アルバイト等で就労している（産休・育休・介護休業中含む） 3．現在、求職中である 4．就労していない ⇒（6）へ
（1）で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。 （2）育休等の状況をお答えください。	1．育休・介護休業中である 2．育休・介護休業中ではない	1．産休・育休・介護休業中である 2．産休・育休・介護休業中ではない
（3）週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。	1週当たり □日 1日当たり □□時間 □□分 就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。	1週当たり □日 1日当たり □□時間 □□分
（4）家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。⇒フルタイムの方は回答後に問19へ	家を出る □□時 □□分 帰宅 □□時 □□分 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は18時30分のように、24時間制でお答えください。	家を出る □□時 □□分 帰宅 □□時 □□分
（1）で「2．パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。 （5）フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。⇒回答後は問19へ	1．フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2．フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3．パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4．パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	1．フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2．フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3．パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4．パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
（1）で「3」または「4」（就労していない）に○をつけた方にうかがいます。 （6）就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号１つに○をつけ、該当する枠内には数字をご記入ください。	1．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） 2．１年より先、一番下の子どもが □□歳になったころに就労したい ⇒問19へ 3．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい　⇒（7）へ	1．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） 2．１年より先、一番下の子どもが □□歳になったころに就労したい ⇒問19へ 3．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい　⇒（7）へ
（6）で「3」に○をつけた方にうかがいます。 （7）希望する就労形態をお答えください。	1．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）　⇒問19へ 2．パートタイム、アルバイト等　⇒（8）へ	1．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）　⇒問19へ 2．パートタイム、アルバイト等　⇒（8）へ
（7）で「2」に○をつけた方にうかがいます。 （8）希望する就労日数・時間をお答えください。	1週当たり □日 1日当たり □□時間 □□分	1週当たり □日 1日当たり □□時間 □□分

定期的な教育・保育事業の利用について（平日）

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、常時、定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 20　に示した事業が含まれます。

問 19　宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．利用している　⇒　**問 20 にお答えください。**　　２．利用していない　⇒　**問 26 へお進みください。**

問 19 で「１．利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 20　宛名のお子さんは、平日のどのような「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．幼稚園（通常の就園時間の利用）
２．幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
３．認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）
４．事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
５．認可外の保育施設
６．ベビーシッター（保育者が子どもの家庭で保育する事業）
７．ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
８．その他　（　　）

問 21　平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。１週当たり何日、１日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください（一枠内に数字は一字）。時間は、必ず「９時 00 分」や「18 時 30 分」のように 24 時間制でご記入ください。

	１週当たり日数		１日当たり時間						利用開始時間						利用終了時間					
現在		日			時間			分			時			分			時			分

問 20 で「５」に○をつけた方にうかがいます。「５」以外に○をつけた方は問 23 へお進みください。

問 22　認可外保育施設を利用している理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．認可保育所の入所の要件を満たしていなかったから
２．認可保育所の空きがなかったから
３．認可外保育所の保育内容がいいと思ったから
４．認可保育所が遠かったり、通勤の上で不便だから
５．希望した認可保育所では６ヶ月未満児を受け入れてくれなかったから
６．認可外保育所は必要なときすぐみてくれるから
７．認可保育所の開所の時間帯や曜日が勤務体制とあわないから
８．その他（　　）

問 23　現在、利用されている教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。

１．東大阪市内　　２．他の市区町村

問 24　平日に「定期的な教育・保育事業」を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．子どもの教育や発達のため
２．お子さんの身の回りの世話をしている方が現在就労しているため
３．お子さんの身の回りの世話をしている方が就労予定がある／求職中であるため
４．お子さんの身の回りの世話をしている方が家族・親族などを介護しているため
５．お子さんの身の回りの世話をしている方が病気や障害があるため
６．お子さんの身の回りの世話をしている方が学生であるため
７．その他（　　）

問 25　現在、利用されている教育・保育事業について、不満に思っていることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．利用できる時間
２．利用料金
３．利用できる曜日
４．施設までの距離
５．施設の方針、内容
６．施設の雰囲気
７．先生の指導力
８．給食
９．子どもが病気になった時の対応
10．保護者が急用の時の対応
11．先生の配置人数
12．施設からの情報提供
13．先生とのコミュニケーションの方法
14．親どうしのコミュニケーションの機会の提供
15．親子で参加できる行事の開催
16．入所（園）手続き
17．入所（園）時期
18．施設、設備
19．その他（　　）

⇒　**問 27 へお進みください。**

問 19 で「２．利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 26　利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない
２．子どもの祖父母や親戚の人がみている
３．近所の人や父母の友人・知人がみている
４．利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
５．利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
６．利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
７．利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
８．子どもがまだ小さいため（□□歳くらいになったら利用しようと考えている）
９．その他（　　）

問 27　現在、利用していても、していなくても、今後、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1．幼稚園（通常の就園時間の利用）
2．幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3．認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）
4．小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね６～19 人のもの）
5．家庭的保育（保育ママ：保育者の家庭等で５人以下の子どもを預かる事業）
6．事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
7．自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、各自治体が独自で基準を定めその基準を満たしたと自治体が認証・認定した施設）
8．認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せもつ施設）
9．認可外の保育施設
10．ベビーシッター（保育者が子どもの家庭で保育する事業）
11．ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
12．その他（　　）
13．利用希望はない　⇒　問 30 へお進みください。

⇒　問 28 にお答えください。

問 28　平日に定期的に利用したい教育・保育の事業について、希望としてはどのくらい利用したいですか。１週当たり何日、１日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください（一枠内に数字は一字）。時間は、必ず「９時 00 分」や「18 時 30 分」のように 24 時間制でご記入ください。

	１週当たり日数		１日当たり時間						利用開始時間						利用終了時間					
希望		日			時間			分			時			分			時			分

問 29　教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。

1．東大阪市内　　2．他の市区町村

地域の子育て支援拠点事業について

※ここでいう「子育て支援拠点事業」とは、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」「つどいの広場」等と呼ばれています。

問 30　宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（一枠内に数字は一字）。

1．地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
　１週当たり □回　もしくは　１ヶ月当たり □□回　程度
2．その他当該自治体で実施している類似の事業（園庭開放、親子教室等）
　１週当たり □回　もしくは　１ヶ月当たり □□回　程度
3．利用していない

問 31　地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。

1．利用していないが、今後利用したい
　１週当たり □回　もしくは　１ヶ月当たり □□回　程度
2．すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
　１週当たり　更に □回　もしくは　１ヶ月当たり　更に □□回　程度
3．新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 32　地域子育て支援拠点事業を利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。もっとも利用したい上位３つに○をつけてください。
※なお、事業の内容によっては、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1．常設の子育て親子の交流の場の提供
2．子育てに関する相談・援助
3．地域の子育て関連情報の提供
4．子育てに関する講習
5．地域に出向いての交流の場の提供（出張ひろば）
6．保育所や幼稚園の入所・利用に関する相談
7．さまざまな世代との交流の場の提供
8．家庭への訪問支援
9．一時預かり
10．病児・病後児保育事業
11．その他（　　）

問 33　子育て支援サービスの情報は、入手しやすいと感じますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．入手しやすい　　2．入手しにくい　　3．どちらともいえない

定期的な教育・保育事業の利用について（土曜・休日、長期休暇中）

※教育・保育事業とは、保育所、幼稚園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

問 34　宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、「８時 30 分」や「17 時 00 分」のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

（１）土曜日

1．利用する必要はない
2．ほぼ毎週利用したい
3．月に１～２回は利用したい

利用したい時間帯
□□時□□分から□□時□□分まで

（２）日曜・祝日

1．利用する必要はない
2．ほぼ毎週利用したい
3．月に１～２回は利用したい

利用したい時間帯
□□時□□分から□□時□□分まで

問 34 の（１）もしくは（２）で、「３．月に１～２回は利用したい」に○をつけた方は問 35 へお進みください。それ以外（問 34 の（１）と（２）で「１」か「２」にのみ○）の方で幼稚園に通われている方は問 36 へ、保育所等に通われている方は問 38 へ、現在、幼稚園や保育所などに通われていない方は問 45 へお進みください。

問34の（1）もしくは（2）で、「3．月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問35　毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．月に数回仕事が入るため　　2．平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3．親等親族の介護や手伝いが必要なため　　4．息抜きのため
5．その他（　　）

「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。「幼稚園」を利用されていない方は問38へお進みください。

問36　幼稚園に通われている宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、「9時00分」や「17時00分」のように24時間制でご記入ください。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1．利用する必要はない
2．休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3．休みの期間中、週に数日利用したい

利用したい時間帯　□□時□□分から□□時□□分まで

問36で、「3．休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。「1」「2」に○をつけた方は問38へお進みください。

問37　毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．週に数回仕事が入るため　　2．買い物等の用事をまとめて済ませるため
3．親等親族の介護や手伝いが必要なため　　4．息抜きのため
5．その他（　　）

病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問19で1に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問45にお進みください。

問38　この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1．あった　⇒　問39にお答えください。　　2．なかった　⇒　問45へお進みください。

問38で「1．あった」に○をつけた方にうかがいます。

問39　この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に行った対処方法として、当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数もわかる範囲で□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

1．父親が休んだ				日
2．母親が休んだ				日
3．（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった				日
4．父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた				日
5．病児・病後児の保育を利用した				日
6．ベビーシッターを頼んだ				日
7．ファミリー・サポート・センターにお願いした				日
8．仕方なく子どもだけで留守番をさせた				日
9．その他　（　　）				日

問39で「1．父親が休んだ」「2．母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。「1」「2」に○をつけていない方は問43へお進みください。

問40　その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等に預けたい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。

※なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1．できれば病児・病後児保育施設等に預けたい　（□□□日）　⇒　問41にお答えください。
2．預けたいとは思わない　⇒　問42へお進みください。

問40で「1．できれば病児・病後児保育施設等に預けたい」に○をつけた方にうかがいます。

問41　病児・病後児保育施設等に子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを預かる事業
2．小児科に併設した施設で子どもを預かる事業
3．地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で預かる事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4．その他　（　　）

⇒　問39で「3」から「9」のいずれかに○をつけた方は問43へお進みください。それ以外の方は問45へお進みください。

問40で「2．預けたいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問42　預けたいと思わない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
2．地域の事業の質に不安がある
3．地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
4．利用料がかかる・高い
5．利用料がわからない
6．親が仕事を休んで対応できるので問題ない
7．その他（　　）
8．特に理由はない

⇒　問39で「3」から「9」のいずれかに○をつけた方は問43へお進みください。それ以外の方は問45へお進みください。

問39で「3」から「9」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問43　その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。

1．できれば仕事を休んで子どもをみたい⇒　□□日　⇒　問45へお進みください。
2．休んで子どもをみることは非常に難しい　⇒　問44にお答えください。

問43で「2．休んで子どもをみることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問44　休んで子どもをみることが難しい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．子どもの看護を理由に休みがとれない　　2．自営業なので休めない
3．休暇日数が足りないので休めない　　4．その他（　　）

不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等について

問 45　宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に冠婚葬祭、リフレッシュ、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、１年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。

１．一時預かり （保育所などで一時的に子どもを預かる事業）			日
２．幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）			日
３．ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）			日
４．ベビーシッター			日
５．その他（　　）			日
６．利用していない　　⇒　問 46 にお答えください。			

⇒　問 47 へお進みください。

問 45 で「６．利用していない」に○をつけた方にうかがいます。「６」に○をつけていない方は問 47 へお進みください。

問 46　現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．特に利用する必要がない
２．利用したい事業が地域にない
３．地域の事業の質に不安がある
４．地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
５．利用料がかかる・高い
６．利用料がわからない
７．自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
８．事業の利用方法（手続き等）がわからない
９．その他　（　　）

問 47　宛名のお子さんに関して、冠婚葬祭、リフレッシュ、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい、不定期の一時預かり事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（目的別の日数を□内に数字でご記入ください）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

１．利用したい				
	ア　買物、習い事、リフレッシュ目的			日
	イ　冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院			日
	ウ　不定期の就労			日
	エ　その他　（　　）			日
２．利用する必要はない　⇒　問 49 へお進みください。				

⇒　問 48 にお答えください。

問 47 で「１．利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 48　問 47 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．大規模施設で子どもを預かる事業（例：幼稚園・保育所等）
２．小規模施設で子どもを預かる事業（例：地域子育て支援拠点等）
３．地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で預かる事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
４．その他　（　　）

問 49　この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この１年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

１．あった			
	ア　（同居者を含む）親族・知人にみてもらった		泊
	イ　子育て短期支援事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）		泊
	ウ　イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した		泊
	エ　仕方なく子どもを同行させた		泊
	オ　仕方なく子どもだけで留守番をさせた		泊
	カ　その他（　　）		泊
２．なかった　⇒　問 51 へお進みください。			

⇒　問 50 にお答えください。

⇒　問 51 へお進みください。

問 49 で「１．あった」の「ア（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。

問 50　その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．非常に困難
２．どちらかというと困難
３．特に困難ではない

小学校就学後の希望等について

問51　宛名のお子さんについて、小学校就学後の放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年（１～３年生）の時期、小学校高学年（４～６年生）それぞれについて、当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は必ず「18 時 00 分」のように 24 時間制でご記入ください。

小学校低学年（１～３年生）の時期の希望	小学校高学年（４～６年生）の時期の希望
１．自宅で家族と過ごす　週□日くらい	１．自宅で家族と過ごす　週□日くらい
２．自宅で留守番をする　週□日くらい	２．自宅で留守番をする　週□日くらい
３．祖父母宅や友人・知人宅　週□日くらい	３．祖父母宅や友人・知人宅　週□日くらい
４．習い事 （ピアノ教室、スイミング、学習塾など） 週□日くらい	４．習い事 （ピアノ教室、スイミング、学習塾など） 週□日くらい
５．留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ） 週□日くらい 下校時から□□時□□分まで	５．留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ） 週□日くらい 下校時から□□時□□分まで
６．ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業） 週□日くらい	６．ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業） 週□日くらい
７．その他（　　）　週□日くらい	７．その他（　　）　週□日くらい

※「留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。現在、東大阪市では１年生～３年生の利用となっています。

問51で「５．留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）」に○をつけた方にうかがいます。「５」に○をつけていない方は問53へお進みください。

問52　小学校就学後の土曜日、日曜日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に宛名のお子さんの留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）の利用希望はあると思いますか。それぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、枠内に 24 時間制でご記入ください。

		土曜日	日曜日	長期休暇期間
利用希望		１．低学年（１～３年生）の間は利用したい ２．高学年（４～６年生）になっても利用したい ３．利用する必要はない ４．わからない	１．低学年（１～３年生）の間は利用したい ２．高学年（４～６年生）になっても利用したい ３．利用する必要はない ４．わからない	１．低学年（１～３年生）の間は利用したい ２．高学年（４～６年生）になっても利用したい ３．利用する必要はない ４．わからない
利用したい時間帯	開始	□□時□□分	□□時□□分	□□時□□分
	終了	□□時□□分	□□時□□分	□□時□□分

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問53　宛名のお子さんの出産前後（前後それぞれ１年以内）に離職（仕事を辞める）をしましたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．離職した　⇒　問54にお答えください。
２．継続的に働いていた（転職も含む）
３．出産１年前にすでに働いていなかった
⇒　問55へお進みください。

問53で「1．離職した」に○をつけた方にうかがいます。

問54　仕事と家庭の両立を支援する保育サービスなどの環境が整っていたら、就労を継続しましたか。次の中から、あなたのお考えにもっとも近い答えの番号１つに○をつけてください。

１．保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた
２．職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働きやすい環境が整っていれば、継続して就労していた
３．保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた
４．働くことに家族や親族の理解が得られれば、継続的に就労していた
５．配偶者の育児・家事への協力が得られれば、継続的に就労していた
６．制度や環境に関係なく、自発的にやめた
７．その他（　　）

問55　宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけてください。

理由	母親	父親
A．働いていなかった	1　⇒　問65へお進みください。	1
B．取得した（取得中）	2　⇒　問57へお進みください。□□□日	2　□□□日
C．取得していない	3	3　⇒　問56にお答えください。

問55で「３．取得していない」に○をつけた方にうかがいます。

問56　育児休業を取得していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

理由	母親	父親
A．職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1	1
B．仕事が忙しかった	2	2
C．（産休後に）仕事に早く復帰したかった	3	
D．仕事に戻るのが難しそうだった	4	3
E．昇給・昇格などが遅れそうだった	5	4
F．収入減となり、経済的に苦しくなりそうだった	6	5
G．保育所などに預けることができた	7	6
H．配偶者が育児休業制度を利用した	8	7
I．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	9	8
J．子育てや家事に専念するため退職した	10	9
K．職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	11	10
L．有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	12	11
M．育児休業を取得できることを知らなかった	13	12
N．産前産後の休暇（産前６週間、産後８週間）を取得できることを知らずに退職した	14	
O．その他　（　　）	15	13

⇒　問65へお進みください。

問55で母親が「2．取得した（取得中）」に○をつけた方にうかがいます。

問57　育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．育児休業取得後、職場に復帰した　⇒　問58にお答えください。
2．現在も育児休業中である　⇒　問64へお進みください。
3．育児休業中に離職した　⇒　問65へお進みください。

問57で「1．育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問58　育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか１つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、１月～２月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

1．年度初めの入所に合わせたタイミングだった　2．それ以外だった

問59　育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できましたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．育児休業期間を調整せずにできた　2．育児休業期間を変更したのでできた
3．できなかった　4．希望しなかった

問60　育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

実際　□歳　□□ヶ月　　希望　□歳　□□ヶ月

問60で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。実際と希望が同じ方は問62へお進みください。

問61　希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

（1）「希望」より早く復帰した方　※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．希望する保育所に入るため
2．配偶者や家族の希望があったため
3．経済的な理由で早く復帰する必要があったため
4．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5．その他（　　）

（2）「希望」より遅く復帰した方　※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．希望する保育所に入れなかったため
2．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3．配偶者や家族の希望があったため
4．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5．子どもをみてくれる人がいなかったため
6．その他（　　）

問62　育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．短時間勤務制度を利用した　2．短時間勤務制度を利用しなかった

⇒　問65へお進みください。　⇒　問63にお答えください。

問62で「2．短時間勤務制度を利用しなかった」に○をつけた方にうかがいます。

問63　短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2．仕事が忙しかった
3．短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなった
4．短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がった
5．配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7．子育てや家事に専念するため退職した
8．職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9．短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10．その他（　　）

⇒　問65へお進みください。

問57で「2．現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

問64　宛名のお子さんが１歳になったときに必ず預けられる事業があれば、１歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても１歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．１歳になるまで育児休業を取得したい　2．１歳になる前に復帰したい

子どもや子育てについて

問65　希望として、子どもが何人ほしいですか。

□人

問66　現在の家庭・教育環境等においても、もう一人以上子どもを生み育てたいと思いますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．生み育てたいと思う　⇒　問68へお進みください。
2．生み育てたいとは思わない　⇒　問67にお答えください。

問66で「2」に○をつけた方にうかがいます。

問67　どのような環境が整えばもう一人以上子どもを生み育てたいと思いますか。もっとも当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．子どもを預けることができれば生みたい
2．収入が増えれば生みたい
3．働くところが見つかれば生みたい
4．子どもを教育してくれる施設が充実していれば生みたい
5．家族の理解が進めば生みたい
6．その他（　　）

問 68　子育てについて、次のようなことを感じることがありますか。それぞれの項目について、当てはまる番号１つに○をつけてください。

	よくある	ときどきある	あまりない	全くない
A. 子どもがかわいくてたまらない	1	2	3	4
B. 子育てによって自分も成長していると感じる	1	2	3	4
C. 自分の子育てがこれでよいのか自信がなくなる	1	2	3	4
D. 子どもがわずらわしくなる	1	2	3	4
E. 子どもを育てるために自分だけが我慢ばかりしていると思う	1	2	3	4
F. 子どもが自分の言うことを聞かないのでいらいらする	1	2	3	4

問 69　子育てについてのライフスタイルの希望

（1）何歳ぐらいから預けたいですか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．産後すぐに保育所に預けたい
2．育児休業明けなどにあたる１歳ぐらいから保育所に預けたい
3．３歳ぐらいから保育所や幼稚園に預けたい
4．４歳ぐらいから保育所や幼稚園に預けたい
5．保育所や幼稚園を利用する予定はない

（2）母親の仕事と子育てに関する理想について、当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．仕事をせずに子育てに専念した方がよい
2．子育てに専念するのに負担のない程度の仕事をした方がよい
3．仕事と子育てを両立した方がよい

※父子家庭の場合は、記載不要です。

問 70　子育てに関して、現在、不安を感じていますか。あるいは、過去に感じたことがありますか。現在と過去についてそれぞれ当てはまる番号１つに○をつけてください。

	非常に不安を感じる（感じた）	何となく不安を感じる（感じた）	あまり不安など感じない（感じなかった）	全く感じない（感じなかった）	なんともいえない（わからない）
過去	1	2	3	4	5
現在	1	2	3	4	5

問 71　自分にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．楽しいと感じることの方が多い
2．楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい
3．辛いと感じることの方が多い
4．わからない
5．その他（　　）

問 72　日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

（1）子どもに関すること

1．病気や発育発達に関すること
2．食事や栄養に関すること
3．育児のことがよくわからないこと
4．子どもとの接し方に自信が持てないこと
5．子どもと過ごす時間が十分取れないこと
6．子どもの教育に関すること
7．子どもの友達づきあいに関すること
8．子どもの登所登園拒否や不登校など
9．特にない
10．その他（　　）

（2）あなたに関すること

1．子育てに関して配偶者の協力が少ないこと
2．配偶者と子育てに関して意見が合わないこと
3．子育てが大変なことを親族、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと
4．自分の子育てについて親族、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること
5．子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと
6．仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7．配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8．子育てのストレス等から子どもにきつくあたってしまうこと
9．子育てによる身体の疲れが大きいこと
10．子育てにかかる出費がかさむこと
11．住居が狭いこと
12．特にない
13．その他（　　）

問 73　自分の子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．思う
2．ときどき思う
3．思わない
4．なんともいえない

仕事と子育てについて

問74　家事（買い物も含む）、育児、介護・看護について、１日平均どのぐらい参画していますか。「１．している」に○をつけた方は、具体的な時間をご記入ください。また、分については15分刻み（15分・30分・45分）でご記入ください。（父親（保護者）・母親（保護者）についてそれぞれご記入ください。）

父親（保護者） ※母子家庭の場合は、記載不要です。	母親（保護者） ※父子家庭の場合は、記載不要です。
【平日について】 ① 家事（買い物も含む） １．している １日平均 □□時間 □□分くらい ２．していない ② 育児 １．している １日平均 □□時間 □□分くらい ２．していない ③ 介護・看護 １．している １日平均 □□時間 □□分くらい ２．していない	【平日について】 ① 家事（買い物も含む） １．している １日平均 □□時間 □□分くらい ２．していない ② 育児 １．している １日平均 □□時間 □□分くらい ２．していない ③ 介護・看護 １．している １日平均 □□時間 □□分くらい ２．していない
【休日について】 ① 家事（買い物も含む） １．している １日平均 □□時間 □□分くらい ２．していない ② 育児 １．している １日平均 □□時間 □□分くらい ２．していない ③ 介護・看護 １．している １日平均 □□時間 □□分くらい ２．していない	【休日について】 ① 家事（買い物も含む） １．している １日平均 □□時間 □□分くらい ２．していない ② 育児 １．している １日平均 □□時間 □□分くらい ２．していない ③ 介護・看護 １．している １日平均 □□時間 □□分くらい ２．していない

問 75　あなたの家庭での生活の中で、「仕事」と「家庭生活（家事等も含む）」、「プライベート」に対する時間の優先度についてうかがいます。父親、母親それぞれについて「希望」と「現実」にもっとも近い答えの項目１つずつに○をつけてください。

		「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「プライベート」を優先	「仕事」と「家庭生活」を共に優先	「家庭生活」と「プライベート」を共に優先	「仕事」と「家庭生活」と「プライベート」を共に優先
父親	希望	1	2	3	4	5	6
	現実	1	2	3	4	5	6
母親	希望	1	2	3	4	5	6
	現実	1	2	3	4	5	6

※父親について母子家庭の場合は記載不要です。※母親について父子家庭の場合は記載不要です。

問 76　配偶者との家事、育児分担に満足していますか。父親、母親それぞれについて当てはまる番号１つに○をつけてください。

	満足している	まあまあ満足している	あまり満足していない	不満だ	わからない
父親	1	2	3	4	5
母親	1	2	3	4	5

※父親について母子家庭の場合は記載不要です。
※母親について父子家庭の場合は記載不要です。

妊婦健診等について

問 77　今ふりかえって、妊娠・出産に関して、不安を感じていたと思いますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．非常に不安を感じた
２．何となく不安を感じた
３．あまり不安など感じなかった
４．全く感じなかった
５．なんともいえない（わからない）

問 78　今ふりかえって、妊娠・出産前後に必要な情報を得られていたと思いますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．得られていた
２．得られていなかった
３．わからない

問 79　妊娠した際の市のサービスを知っていますか。それぞれの項目について、当てはまる番号１つに○をつけてください。

サービス名	利用した	知っているが利用していない	知らない
A．保健センターの保健師などによる健康相談	1	2	3
B．保健センターのマタニティ教室、両親学級	1	2	3
C．妊婦健康診査費用の助成（受診券の配布）	1	2	3

⇩ 問 80 にお答えいただいてから問 81 へお進みください。

⇩ 問 81 へお進みください。

※東大阪市に居住している妊婦の方は、母子健康手帳の別冊の「妊婦健康診査受診券」を使用し健康診査費用の助成を 14 回受けることができます。

問 79 のＣで妊婦健康診査受診券を「１．利用した」に○を付けた方にうかがいます。

問 80　サービスに満足しましたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．満足した
２．まあまあ満足した
３．あまり満足していない
４．不満だ
５．わからない

問81　今ふりかえって、妊娠や出産について困ったことはありましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．妊婦同士の交流の場が身近にないこと
2．妊娠・出産についての情報や知識が入手しにくいこと
3．妊娠・出産についての相談相手が身近にいないこと
4．上の子どもを見てくれる人がいないこと
5．家事・育児の協力者がいないこと
6．医療機関の情報が入手しにくいこと
7．健診費用の負担が大きいこと
8．特にない
9．その他（　　）

地域の助け合いによる子育てについて

問82　子育てサークルなど自主的な活動に参加していますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．現在参加している
2．現在参加していないが、今後機会があれば参加したい
3．現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない

問83　子育てサークルや地域の子育て支援に貢献していますか。または、今後、貢献してみたいと思っていますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．現在貢献している
2．現在貢献していないが、今後機会があれば貢献したい
3．現在は貢献しておらず、今後も貢献しないと思う

問84　近所づきあいをどの程度されていますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．困っているときは、相談したり助け合ったりする人がいる
2．買い物や地域の行事などに一緒に行ったりする気の合う人がいる
3．たまに立ち話をするくらいの人がいる
4．道で会えばあいさつするくらいの人がいる
5．近所づきあいはほとんどしていない
6．その他（　　）

問85　子育てが地域の人に（もしくは社会で）支えられていると感じますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．感じる
2．感じない

子どもとの外出について

問86　お子さんと外出する際、困ること・困ったことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多く、安全に心配があること
2．歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっていること
3．交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと
4．トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと
5．授乳する場所や必要な設備がないこと
6．小さな子どもとの食事に配慮された場所（店）が少ないこと
7．買い物や用事等の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと
8．緑や広い歩道が少ない等、まちなみにゆとりとうるおいがないこと
9．暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害に遭うのではないかと心配なこと
10．周囲の人が子ども連れを迷惑そうに見ること
11．荷物や子どもに手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ないこと
12．その他（　　）
13．特に困ること・困ったことはない

問87　お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．満足している
2．満足していない
3．普通

問88　地域の子どもの遊び場について、日ごろ感じていることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．近くに遊び場がない
2．雨の日に遊べる場所がない
3．思い切り遊ぶために十分な広さがない
4．遊具などの種類が充実していない
5．不衛生である
6．いつも閑散としていて寂しい感じがする
7．遊具などの設備が古くて危険である
8．緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない
9．遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない
10．公園など遊び場のトイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない
11．遊び場周辺の道路が危険である
12．不審者などがいて子どもに危険が及ばないかが心配である
13．遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない
14．その他（　　）
15．特に感じることはない

施策全般について

問89　子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）
2．保育サービスの充実
3．子育て支援のネットワークづくり
4．地域における子どもの活動拠点の充実
5．訪問型の支援サービスの充実
6．健やかな妊娠・出産に対する支援
7．子どもの教育環境の充実
8．子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
9．仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備
10．子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
11．虐待等を受けた社会的養護を要する子どもに対する支援
12．その他（　　）

問90　行政（東大阪市、府、国）に対して、どのような子育て支援策の充実を図ってほしいと期待しますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する
2．親子が安心して集まれる保育所・幼稚園の園庭開放を充実する
3．親子が安心して集まれる集いの場等の屋内の施設を整備する
4．子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組む
5．子育てに困ったときの相談体制を充実する
6．子育て支援に関する情報提供を充実する
7．子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識・技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加と内容の充実を図る
8．子育てサークル活動への支援を充実する
9．保育所、留守家庭児童育成クラブ（放課後児童クラブ）等の働きながら子どもを預ける施設を増やす
10．幼稚園の保育サービスを充実する
11．専業主婦・主夫など誰でも気軽に利用できるNPOや民営等による保育サービスの支援を行う
12．安心して子どもが医療機関（小児医療など）を利用できる体制を整備する
13．子どもの安全を確保する対策を充実する
14．子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる
15．子育て世帯への経済的援助の拡充する（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充等）
16．公営住宅の優先入居・広い部屋の割り当て等、住宅面での配慮・支援に取り組む
17．その他（　　）
18．特になし

問91　最後に、教育・保育環境の充実など子育て支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

これで調査は終わりです。最後までご協力いただき、ありがとうございました。

10月16日（水）までに同封の返信用封筒に入れてご投函ください。よろしくお願いいたします。